

デーヴォ ガイド



2022.10.31-11.6

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。



41:46 エジプトの王ファラオに仕えるようになったとき、ヨセフは三十歳であった。ヨセフはファラオのもとから出発して、エジプト全土を巡った。

41:47 さて、豊作の七年間に、地は豊かに実らせた。

41:48 ヨセフはエジプトの地で穫れた七年間の食糧をことごとく集め、その食糧を町々に蓄えた。町の周囲にある畑の食糧を、それぞれの町の中に蓄えたのである。

41:49 ヨセフは穀物を、海の砂のように非常に多く蓄え、量りきれなくなったので、ついに量るのをやめた。

41:50 飢饉の年が来る前に、ヨセフに二人の子が生まれた。オンの祭司ポティ・フェラの娘アセナテが産んだ子である。

41:51 ヨセフは長子をマナセと名づけた。「神が、私のすべての労苦と、私の父の家のすべてのことを忘れさせてくださった」からである。

41:52 また、二番目の子をエフライムと名づけた。「神が、私の苦しみの地で、私を実り多い者としてくださった」からである。

41:53 エジプトの地での豊作の七年が終わると、

41:54 ヨセフが言ったとおり、七年の飢饉が始まった。その飢饉はすべての国々に臨んだが、エジプト全土には食物があった。

41:55 やがて、エジプト全土が飢えると、その民はファラオに食物を求めて叫んだ。ファラオは全エジプトに言った。「ヨセフのもとに行き、ヨセフの言うとおりにせよ。」

41:56 飢饉は地の全面に及んだ。ヨセフはす

べての穀物倉を開けて、エジプト人に売った。その飢饉はエジプトの地でもひどくなった。

41:57 全地は、穀物を買うためにエジプトのヨセフのところに来た。その飢饉が全地で厳しかったからである。

ヨセフに子どもが生まれました。後のイスラエルのマナセ族とエフライム族の始祖です。このようにイスラエルの部族にはエジプトすなわち異邦人の血が混じっていたのです。神様のご計画は信仰の民、アブラハムの子孫であるイスラエルが異邦人も深く関わりつつ、その希望となることでもありました。

また子どもたちの名前には、父ヨセフが苦勞の中でも神様が守り導いてくださった証しがあります。それが子どもたちのアイデンティティーになっているのはすばらしいことです。このようにあらゆることを通して信仰を継承させていきましょう。

またヨセフは王であるパロの権力が大きくなることにも貢献しました。この箇所を見る限り、エジプト王の権力は全土の食料を確保して国民を支え、それゆえ国は秩序によって守られたようです。またその権力は暴動や他国からの略奪からも国民を守ったと思われます。このようにクリスチャンは、神様が社会を守るために与えた権威に貢献することも大切です。そのように自分に与えられた使命を社会的にも全うすることによって、ヨセフはかつて自分を売った兄たちとの和解が可能になったのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？





42:1 ヤコブはエジプトに穀物があることを知って、息子たちに言った。「おまえたちは、なぜ互いに顔を見合わせているのか。」

42:2 さらに言った。「今、私はエジプトに穀物があると聞いた。おまえたちは下って行って、そこから私たちのために穀物を買って来なさい。そうすれば、私たちは生き延び、死なずにすむだろう。」

42:3 そこで、ヨセフの十人の兄弟は、穀物を買うためにエジプトに下って行った。

42:4 しかし、ヤコブはヨセフの弟ベニヤミンを兄弟たちと一緒に送らなかった。わざわざが彼に降りかかるといけないと思ったからである。

42:5 こうしてイスラエルの息子たちは、人々に混じって、穀物を買いにやって来た。カナンのに飢饉が起こったからである。

42:6 ときに、ヨセフはこの地の権力者であり、この地のすべての人に穀物を買う者であった。ヨセフの兄弟たちはやって来て、顔を地に付けて彼を伏し拝んだ。

42:7 ヨセフは兄弟たちを見て、それと分かったが、彼らに対して見知らぬ者のようにふるまい、荒々しいことばで彼らに言った。「おまえたちはどこから来たのか。」すると彼らは答えた。「カナンの地から食糧を買いに参りました。」

42:8 ヨセフには兄弟たちだと分かったが、彼らにはヨセフだとは分からなかった。

42:9 かつて彼らについて見た夢を思い出して、ヨセフは言った。「おまえたちは回し者だ。この国の隙をうかがいに来たのだろう。」

42:10 彼らは言った。「いいえ、ご主人様。

しもべどもは食糧を買いに参りました。

42:11 私たちはみな、一人の人の子です。私たちは正直者です。しもべどもは回し者などではございません。」

42:12 ヨセフは彼らに言った。「いや、おまえたちは、この国の隙をうかがいにやって来たのだ。」

42:13 彼らは言った。「しもべどもは十二人兄弟で、カナンの地にいる一人の人の子でございます。末の弟は今、父と一緒にいますが、もう一人はいなくなりました。」

42:14 ヨセフは彼らに言った。「私が、おまえたちは回し者だと言ったのは、そのことだ。」

42:15 次のことで、おまえたちを試そう。ファラオのいのちにかけて言うが、おまえたちの末の弟がここに来ないかぎり、おまえたちは決してここから出ることはできない。

42:16 おまえたちのうちの一人を送って、弟を連れて来い。それまで、おまえたちを監禁する。おまえたちに誠実さがあるかどうか、おまえたちの言ったことを試すためだ。もし誠実でなかったら、ファラオのいのちにかけて言うが、おまえたちは間違いなく回し者だ。」

42:17 こうしてヨセフは三日間、彼らを監獄に入れておいた。

ききんは広範囲であったようで、カナンの地にいたヤコブたちにも及びました。信仰者といえども、気候や社会の変動から来る苦難に無関係ではられません。しかし主に導かれる者は、最善の主のわざにあずかることができます。そして主の新しいご計画へと導かれます。

ヤコブはエジプトの大臣が誰であるか知る由もありませんが、背後におられる主に導かれて息子たちを送ります。私たち人間は必要にかられて行動しなければならぬときがありますが、主はどこにでもおられる方です。全能の主のあわれみを信じていきましょう。

ヤコブは歳若い息子ヨセフを失った悲しみから、同じことを心配して下の息子ベニヤミンは出しますが、後にはそれがヨセフに用いられます。そしてそれが兄弟の和解につながるのです。私たち人間は先の先まで見通すことはできません。だからこそ主に頼りつつ、今の段階で精一杯主に従う必要があるのです。

ヨセフは荒々しい態度をとりましたが、これは自分が兄弟だと悟られないため、また兄たちの心を知りたいがためでした。またそれは結果的には兄たちの悔い改めを知って、彼自身の心が癒されることにもなりました。このように神様は単にご計画を進めるだけでなく、その心の癒しまでもご配慮くださる、行き届いた方なのです。

一連の言動に関しては、ヨセフには明確なプランがあったか分かりませんが、様々な思いが混じりながら、結局は主が動かされるような命令を兄弟たちに下してゆきました。ヨセフは奴隷としてエジプトに売られてからも一貫した主の御心を行い、主に従ってきました。そのような信仰の基本姿勢がそうさせたと言えるでしょう。また主はそのようなヨセフに最善の導きで答えてくださったのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

2日 水曜

創世記



42:18 ヨセフは三日目に彼らに言った。「次のようにして、生き延びよ。私も神を恐れる者だから。」

42:19 もし、おまえたちが正直者なら、おまえたちの兄弟の一人を監獄に監禁したままにせよ。自分たちは飢えている家族に穀物を持って行くがよい。

42:20 そして、末の弟を私のところに連れて来るがよい。そうすれば、おまえたちのことが本当だということが分かり、おまえたちが死ぬことはない。」そこで彼らはそのようにした。

42:21 彼らは互いに言った。「まったく、われわれは弟のことで罰を受けているのだ。あれが、あわれみを求めたとき、その心の苦しみをしながら、聞き入れなかった。それで、われわれはこんな苦しみにあっているのだ。」

42:22 ルベンが言った。「私はあの子に罪を犯すなど言ったではないか。それなのに、おまえたちは聞き入れなかった。だから今、彼の血の報いを受けているのだ。」

42:23 彼らは、ヨセフが聞いていることを知らなかった。ヨセフと兄弟たちの間には通訳がいたからである。

42:24 ヨセフは彼らから離れて、泣いた。それから彼らのところに戻って来て、彼らに語った。そして彼らの中からシメオンを捕らえて、彼らの目の前で彼を縛った。

42:25 ヨセフは彼らの袋に穀物を満たし、それぞれの袋に彼らの銀を戻し、さらに道中の食糧を与えるように命じた。それで、人々はそのとおりにした。

ヨセフが弟を人質にしたのは、兄弟たちの弟への愛を試すためであり、またできれば自分がかつて売ったことへの後悔を感じて欲しいからでもありました。おそらくそこには主との交わりを通しての知恵があったでしょう。自分がヨセフですと名乗り出て全てをゆるすことも、またかつて売られたことの復讐をするのも簡単です。しかしそれだけでは本当の解決にはならないのです。互いの心に解決が必要であるとの主からの知恵です。

逆境のときも常に主と交わり、本当の解決を求めて主の知恵をいただきましょう。特に人の心に着目して、和解のためには自分の感情のままにではなく、全体の最善に向かうように計らいましょう。

ようやく兄たちは、ヨセフを奴隷とて売ったことを悔い始めました。当時は自分たちが父から冷たい扱いを受けているのだから当たり前くらいに思っていたでしょう。さらには偏愛を受けていたヨセフは自分たちをばかにするような態度を取ったのだから、彼を売るくらしいことは許されると思ったことでしょう。人間はどこまでも自分中心で、その悪に気づかないものです。

このように周囲がどんなに言っても気づかないときは、主の時を待つしかない場合があります。主は見過ごしにされずに、必ず気づかせてくださると信頼しましょう。またもしも自分が苦難にあるときには、神様が何を語っておられるのか、もしかしたら自分に何かを気づかせようとしておられるのではないかと、主に聞いてみる必要もあります。

ルベンは兄弟たちを非難しているようですが、確かに彼はヨセフを守ろうとしましたし、また彼は今は自分自身も当事者としてその報いを受けようとしています。「自分たちを反省する」というのは時には必要ですが、その場合は自分も共に報いを負い解決しようとする、謙遜な当事者となってこそ成り立つものです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？





42:26 彼らは穀物を自分たちのろばに背負わせて、そこを去った。

42:27 さて、彼らの一人が、宿泊所で自分のろばに飼料をやろうとして袋を開けると、自分の銀が、見よ、自分の袋の口にあった。

42:28 彼は兄弟たちに言った。「私の銀が戻されている。しかもこのとおり、私の袋の中に。」彼らは動転し、身を震わせて、互いに言った。「神は私たちにいったい何をなさったのだろう。」

42:29 彼らはカナンのにいる父ヤコブのもとに帰って、その身に起こったことをすべて彼に告げた。

42:30 「あの国の主君である人が私たちに厳しく語り、私たちを、あの国を探る回し者のように扱いました。

42:31 私たちはその人に、『私たちは正直者で、回し者などではありません。』

42:32 私たちは十二人兄弟で、同じ父の子です。一人はいなくなりましたが、末の弟は今、カナンのに父と一緒にいます』と申しました。

42:33 すると、その国の主君である人が私たちに言いました。『こうすれば、おまえたちが正直者かどうか分かる。おまえたちの兄弟を一人、私のところに残して、飢えているおまえたちの家族に穀物を持って行け。』

42:34 そして、末の弟を私のところに連れて来い。そうすれば、おまえたちが敵の回し者ではなく、正直者だということが分かる。そこで私はおまえたちの兄弟を渡そう。そうして、おまえたちはこの地に入りができるようになる』と。」

42:35 それから彼らが自分たちの袋を開けると、見よ、一人ひとりの銀の包みが自分の袋の中にあった。彼らも父も、この銀の包みを見て恐れた。

42:36 父ヤコブは言った。「おまえたちは、すでに私に子を失わせた。ヨセフはいなくなり、シメオンもいなくなった。そして今、ベニヤミンまで取ろうとしている。こんなことがみな、私に降りかかってきたのだ。」

42:37 ルベンに父に言った。「もし私がこの弟をあなたのもとに連れ帰らなかったら、私の二人の子を殺してもかまいません。彼を私に任せてください。この私が彼をあなたのもとに連れ戻します。」

42:38 するとヤコブは言った。「この子は、おまえたちと一緒にには行かせない。この子の兄は死んで、この子だけが残っているのだから。道中で、もし彼にわざわいが降りかかれば、おまえたちは、この白髪頭の私を、悲しみながらよみに下らせることになるのだ。」

ヨセフの銀のことから「神は、私たちにいったい」と、彼らの思いは次第に神様に向くようになってきたようです。まだ解決からは程遠いのですが、このよう少しでも神に思いが向いてゆくと共に、何が少しずつ変わります。神様は中心に考える習慣を身に付けましょう。

かつての罪を認め、また心が神様に向いてきた息子たちは、困難な状況の中にも何とか打開を図ろうとします。父ヤコブにエジプトでのことを報告しますが、行動を共にしていないヤコブは、ただ恐れをいだき、事態を息子たちの責任にし(36節)、自己憐憫に陥っていました(38節)。

かつての息子たちは決して誉められるような信

仰ではありませんでした。一方ヤコブはヤボクの渡しでは素晴らしい神体験をしましたが、今は決断のできない気弱な老人です。大切なのは生きておられる神様との関係が、現在はどうなのかということです。過去がどうであれ今は、困難を引き受け、罪と認めて、神様を見上げつつ、なんとか最善に導かれようとする息子たちと、ヤコブとはその視点が違っています。

ルベンは、自分自身はヨセフを売ることに反対しましたが、当時の罪を自分のものと感じたのでしょう。父の責任転嫁に反論することもせず、父を説得して解決の道を探ろうとしています。このように、みなを罪を自分のこととして負い、困難を引き受け、謙遜に人と関わる者は、過去がどうであれ、主の導きに沿って行くことができるのです。

①神のみこころは？(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど)

②どんな思いになりましたか？(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか？(あなたその部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか？





43:1 さて、その地の飢饉は激しかった。
 43:2 彼らがエジプトから持って来た穀物を食べ尽くしたとき、父は彼らに言った。「また行って、われわれのために食糧を少し買って来てくれ。」
 43:3 すると、ユダが父に言った。「あの方は私たちを厳しく戒めて、『おまえたちの弟と一緒にでなければ、私の顔を見てはならない』と言いました。
 43:4 もし弟を私たちと一緒に行かせてくださるなら、私たちは下って行って、お父さんのために食糧を買って来ましょう。
 43:5 しかし、もし彼を行かせてくださらないなら、私たちは下って行きません。あの方は私たちに、『おまえたちの弟と一緒にでなければ、私の顔を見てはならない』と言ったのですから。」
 43:6 イスラエルは言った。「なぜ、おまえたちは、自分たちにもう一人の弟がいるとその方に言って、私を苦しめるようなことをしたのか。」
 43:7 彼らは言った。「あの方が私たちや家族のことについて、『おまえたちの父はまだ生きていますか。おまえたちには弟がいるのか』としきりに尋ねるので、問われるままに言ってしまったのです。『おまえたちの弟を連れて来い』と言われるとは、どうして私たちに分かったのでしょうか。」
 43:8 ユダは父イスラエルに言った。「あの子を私と一緒に行かせてください。私たちは行きます。そうすれば私たちは、お父さんも私たちの子でも私たちも、生き延びて、死なずにすむでしょう。」

43:9 私自身があの子の保証人となります。私が責任を負います。もしも、お父さんのもとに連れ帰らず、あなたの前にあの子を立たせなかったら、私は一生あなたの前に罪ある者となります。
 43:10 もし私たちがためらっていなかったなら、今までに二度は、行って帰れたはずですよ。」
 43:11 父イスラエルは彼らに言った。「それなら、こうなさい。この地の名産を袋に入れ、それを贈り物として、その方のところへ下って行きなさい。乳香と蜜を少々、樹膠と没薬、ピスタチオとアーモンド、
 43:12 また二倍の銀を持って行きなさい。おまえたちの袋の口に返されていた銀も、持って行って返しなさい。おそらく、あれは間違いだったのだろう。
 43:13 そして、弟を連れて、さあ、その方のところへ出かけて行きなさい。
 43:14 全能の神が、その方の前でおまえたちをあわれんでくださるように。そして、もう一人の兄弟とベニヤミンをおまえたちに渡してくださるように。私も、息子を失うときには失うのだ。」

ヤコブは状況に対する理解力も衰えているようです。「あなたがたは…ひといめに会わせるのか」とすべてが自分の身近にいる人のせいであるかのように感じています。

しかしここでルベンだけでなくユダも犠牲を払ってまでも事態を解決しようと、父ヤコブを説得しようとしています。リーダーとして様々な面で衰えている父ではあっても、あくまでも尊重していることによって、群れの平和に貢献していたと言えるでしょう。もしも父とも敵対し内輪もめしていたら、新たな問題を抱えてしまったでしょう。

またそのようなユダの真実が父ヤコブの心を動かしました。ここに来てヤコブはようやく事態の解決のためには、ただ恐れているだけではいけないと悟ったようです。ここで彼の贈り物のアイデアは、かつてエサウとの和解のために贈り物を用意したことを思い出させます。「全能の神が」と主に委ねて、現実を直視し、決心したときには、その人に与えられた賜物も生かされるのではないでしょう。

ききんという外的な不遇、それに対処する共同体の一致の必要、しかし過去に起こった罪や争いなど、困難には1人では乗り越えられない問題が重なって困難は存在します。家族、夫婦、教会といった共同体が、解決を必要とするときには誰かのせいや責任にするのではなく、それぞれに与えられた、神様からの課題を謙遜に認め、クリアしてゆく必要があるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



5日 土曜

創世記

43:15 そこで、一行は贈り物を携え、二倍の銀を持ち、ベニヤミンを伴って出発した。そして、エジプトへ下り、ヨセフの前に立った。

43:16 ヨセフは、ベニヤミンが彼らと一緒にいるのを見るや、彼の家を管理する者に言った。「この人たちを家に連れて行き、家畜を屠って料理しなさい。この人たちは私と昼食をとともにするから。」

43:17 その人は、ヨセフが言ったとおりに、一同をヨセフの家に連れて行った。

43:18 一同はヨセフの家に連れて行かれたので、怖く言って言った。「われわれが連れて来られたのは、この前のとき、われわれの袋に戻されていた、あの銀のせいだ。われわれを陥れて襲い、奴隷としてろばとともに捕らえるためだ。」

43:19 彼らはヨセフの家を管理するその人に近づいて、家の入り口のところで話しかけた。

43:20 「ご主人様、最初のとき、私たちは食糧を買いに下って参りました。

43:21 ところが、宿泊所に着いて、袋を開けると、なんと、私たちの一人ひとりの銀がそのまま自分の袋の口にあったのです。それで、私たちはそれを返しに持って参りました。

43:22 また、食糧を買うために、別の銀も持って参りました。だれが私たちの銀を袋の中に入れてのかは、私たちには分かりません。」

43:23 彼は答えた。「安心しなさい。恐れることはありません。あなたがたの神、あなたがたの父の神が、あなたがたのために袋の中に宝を入れてくださったのです。あなたがた



の銀は、私が受け取りました。」それから、彼はシメオンを彼らのところに連れて来た。
43:24 その人は一同をヨセフの家に連れて行き、水を与え、彼らは足を洗った。また彼は、彼らのろばに餌を与えた。

兄弟たちにはいくつかの選択肢がありました。自分たちの命を最優先にして、もうエジプトには行かずにシメオンを犠牲にする…銀のことは伏せておいて相手が気づいていなければ話題にしない…などです。しかし彼らは最も誠実な道を選びました。命をかけてエジプトに来てシメオンを取り返し、そして銀のことを正直に話したのです。

人は問題やトラブルがないときには、その人の人望や経験で対処することができます。しかし問題が起きると、人の内側にあるもの、特に未熟な部分や不信仰な部分が露呈されます。逆に問題が起きたときこそ、信仰の深さや強さが明らかになるものです。今や兄弟たちは問題の中でその信仰が養われ始めているようです。問題を信仰のチャンスと見直しましょう。そしてさらなる祝福をいただきますように。

彼らが勇気と誠実を持って打ち明けた銀のことは、ヨセフも管理者も彼らのものとして認めました。もともとヨセフが主に導かれた判断で隠し入れたものですから、主に委ねた告白に対して応答したのです。すべてのことには主が背後に働いているのですから、私たちは常に主への信仰で行動するなら間違いはないはずです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？





43:25 兄弟たちは、ヨセフが昼に帰って来るまでに、贈り物を用意しておいた。自分たちがそこで食事をするようになっていてと聞いたからである。

43:26 ヨセフが家に帰って来たとき、彼らはその家まで携えて来た贈り物を彼に差し出し、地に伏して彼を拝した。

43:27 ヨセフは彼らの安否を尋ねた。「以前に話していた、おまえたちの年老いた父親は元気か。まだ生きているのか。」

43:28 彼らは答えた。「あなた様のしもべ、私たちの父は元気で、まだ生きております。」そして、彼らはひざまずいて彼を拝した。

43:29 ヨセフは目を上げ、同じ母の子である弟のベニヤミンを見て言った。「これが、おまえたちが私に話した末の弟か。」そして言った。「わが子よ、神がおまえを恵まれるように。」

43:30 ヨセフは弟なつかしさに、胸が熱くなって泣きたくなり、急いで奥の部屋に入って、そこで泣いた。

43:31 やがて、彼は顔を洗って出て来た。そして自分を制して、「食事を出せ」と命じた。

43:32 それで、ヨセフにはヨセフ用に、彼らには彼ら用に、ヨセフとともに食事をするエジプト人にはその人たち用に、それぞれ別々に食事が出された。エジプト人は、ヘブル人とはともに食事ができなかったからである。それは、エジプト人が忌み嫌うことであった。

43:33 彼らはヨセフの前で、年長者は年長の席に、年下の者は年下の席に座らされたので、一同は互いに驚き合った。

43:34 また、ヨセフの食卓から彼らの分が与えられたが、ベニヤミンの分は、ほかの者より五倍も多かった。彼らはヨセフとともに酒を飲み、酔い心地になった。

かつてヨセフは畑の束や太陽系の夢を見て、兄たちは自分にひれ伏すようになることを連想しました。そして今やその夢の通りになりました。まさにヨセフは神の人で神に用いられたわけではありません。しかしヨセフであっても、主のわざに参与したからということで、自分を正当化することはできません。人はもともと多くの夢を見るものです。自分が喜ぶような夢を見たときに、周囲の気持ちも考えずに得意げに話すということは、自己中心的で配慮が足りないことです。

また用いられるということであれば、兄弟たちもヨセフを売ったことにより、彼は大臣になってヤコブ一族の助けになったのですから、「自分たちは神に協力した」と言えないこともありませんが、それは見当違いです。主は人間の愚かさや失敗や間違いさえもお用いになるのですから、結果だけを見て、自分は用いられたとは言えないのです。それは自分の問題や罪を覆い隠してしまう詭弁なのです。私たちは自分自身の感情と動機を、神のみことばに照らしてみる必要があります。

ヨセフも兄弟たちも、食べて飲み、良い気分になったようです。そこには、誰が正しくて被害者であるかというような、被害者意識がヨセフからなくなっていることがわかります。そのような思いが兄たちにも、雰囲気として伝わったのでしょうか。彼らもまた安心して酔いごちになりました。神様から与えられた和解の思いは、契約のような言葉を取り交わさずとも、愛の雰囲気で作る部分も大きいのです。私たちはそれが聖霊の働きであることを知っています。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

